

# 特産品



プレミアムバナナプリン  
ひろぼーのごちそう



朝陽に輝く水平線がとても綺麗な  
みかんの丘のある町のバナナ  
『綺麗』



福島県広野町産  
特別栽培 コシヒカリ



みかん  
ジャム



みかん  
果汁100%ジュース

# 童謡のまち

広野町は童謡「とんぼのめがね」が生まれ、唱歌「汽車」の舞台であると言われてます。平成6年度より「豊かな心を育む交流と文化のまちづくり」事業の一環として、「ひろの童謡まつり」を開催し、童謡の継承と新たな童謡の発信を行ってきました。現在までに、広野から発信された「新しい童謡」は28曲を数えます。これらは広野町の多くの人々に親しまれ、特に「はなのうみ」「まつぼっくり」「ザリガニくん」などは童謡名曲として全国で愛唱されています。

とんぼのめがね作詩者  
『額賀誠志』  
「とんぼのめがね」は、広野町に住む医師で、高名な童謡作家であった「額賀誠志」氏が、昭和23年頃に上浅見川の帯平地区に往診へ行った際に、子どもがとんぼとたわむれている情景を詩にうたったものです。



帯平の風景



童謡「とんぼのめがね」歌碑



唱歌「汽車」歌碑(JR広野駅)



唱歌「汽車」トンネル

## とんぼのめがね

作詞 額賀 誠志  
作曲 平井康三郎

とんぼの めがねは  
水いろ めがね  
青いおそらを  
とんだから とんだから  
とんぼの めがねは  
ぴかぴか めがね  
おてんとさまを  
みてたから みてたから  
とんぼの めがねは  
赤いろ めがね  
夕焼け雲を  
とんだから とんだから

## 汽車

文部科学省唱歌  
作曲 大和田愛羅

今は山中 今は浜  
今は鉄橋 渡るぞと  
思うまもなく トネルの  
やみを通って 広野原  
遠くに見える 村のやね  
近くに見える 町ののき  
森や林や 田や畑  
あとへあとへと 飛んで行く  
まわりどうろうの 絵のように  
かわる景色の おもしろさ  
見とれてそれと 知らぬ間に  
早くもすぎる いく十里